



にほんご教室日記 第116回

教室スタッフのボランティアさんが普段、考えていることや受講生の様子などをお知らせしています。

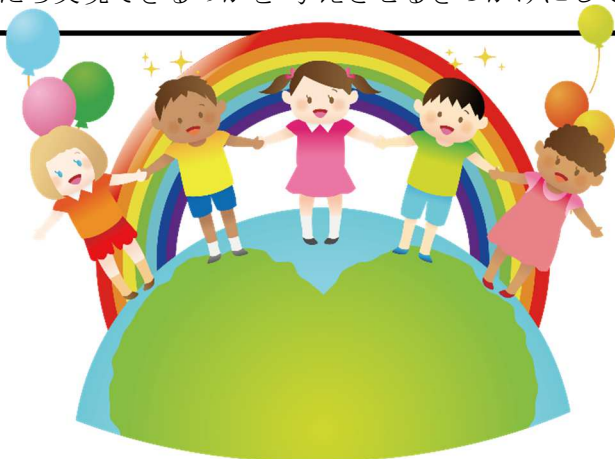
●オリンピックと多様性

日本に帰化した人が新宿の街を歩いていたら、突然そばに寄ってきた警察官が、外国人在留カードを見せると要求してきました。「私は持っていない。なぜなら日本人だから。」と彼は答えました。しかし、言葉の使い方が標準語とは違うためか、その警察官はしつこく職務質問をしてきたそうです。(受講生の体験談より)

「東京2020」がコロナの大流行の中開催され、そして終了しました。この大会は「多様性」を強調し、海外にルーツを持つ人をいろいろな場面(招致、聖火点火者など)で登場させてきました。選手にも何人も海外ルーツの選手がいて、前回の東京オリンピックの時に比べたら、まさに様変わりであったと思います。日本選手団は、複数のルーツを持つたくさんの選手を擁し、今までで最も「多様性のある選手団」であったと思います。そして、私たちは彼らの活躍に拍手を送り、大いに楽しみました。このことだけを見れば日本社会は多様性のある社会へと進化したのではないかと感じられます。しかし、現実には日本人の肌の色、言葉、行動などは皆同じだと思っている人が多く、冒頭の警察官もおなじように思っているため、しつこい職務質問をしているのだと思います。

歴史的にいろいろな文化や民族が行ったり来たりした大陸の国々と異なり、日本人は皆外見も同じで、同じものを食べ、同じ言葉話し、皆同じように考え、同じ服装をし、髪の色も皆同じ黒のはずだ、それ以外はありえない、という画一的な考えがごく自然に一人一人の身についている面があります。学校を例にとれば、外国にルーツを持つ子供たちが年々増えるにもかかわらず、日本の学校へ来る子供たちは日本語が理解できるはずだとの考えから、しっかりとした援助方針・対策が立てられないまま過ぎてきました。給食も全員が同じものを食べるとの前提で作られています。ネギは嫌いだから食べないなどという個人的な理由とは全く異なる理由で、絶対食べられないものがあるということには思いが至りません。学校のみならず社会全体が多様性を持つようになるにはまだしばらく時間がかかるのではないのでしょうか。

パラリンピックが始まろうとしています。身体的な障害があっても、力強く頑張る姿を子どもたちに見せたいとの意見が出ています。子どもたちに見学させ、単に感動して終わらせることなく、日本中の、アスリートではない「障害を持つ普通の人」が、だれにも遠慮することなく安全に堂々と生きられる多様性のある社会は、どうしたら実現できるのかを考えさせるきっかけにしたいと思います。



# 「外国人市民のための生活情報講座」開催報告

日本の幼稚園・保育所を知ろう!!

Study Session for International residents

Guidance for Admission to Kindergartens and Childcare Facilities



7月29日(木)に上尾市文化センターで外国人のための生活情報講習会がありました。

テーマは「幼稚園と保育所について学ぶ」でした。

小さい子供が初めて行く学校は「幼稚園」です。「保育所」との違いは何?

最近「こども園」というのも聞きますが、この違いは何でしょう。

「幼児教育無償化」って、全然お金がかからないの??

外国人ママ(パパ)は、母国の制度との違いに戸惑うことも多いと思います。

AGA多文化子育てお母さんの会(幼稚園に入る前の子供を持つ外国人ママの会)は、コロナ禍でお休み中ですが、何とかこの秋の幼稚園の申し込み前に勉強しようと、上尾市の保育課から講師をお迎えしました。埼玉県のコロナ感染が急増してきたので、ギリギリまでできるかどうか検討していたのですが、感染対策を万全にして、何とか開催することができました。

参加者は中国、フィリピン、ベトナム、タイといつもながら交際色豊かでした。

通訳さんに手助けしてもらいながら、難しい日本語がいっぱい資料を片手に、皆さんしっかり勉強できたようでした。

外国人ママは育児の手助けをしてくれる祖父母が日本にいないことも多く、保育所や幼稚園のプレ保育、一時保育などを利用したい人が多く、それぞれ質問をたくさんしていました。子供やママが病気になった時など、近くに手助けしてくれる人がほとんどいない外国人は、より子育てが困難になります。最近市役所の保育課に専門の人がいて毎日相談のついでに、ポケット通訳機や電話通訳を使うことができるので外国人も相談しやすくなったとか、役に立つ情報をたくさんいただくことができました。

後半はすでに子供を日本の幼稚園や保育所に入れた経験を持つ先輩外国人ママが体験を話してくれました。日本人のご主人の卒園した幼稚園に長男を入れたフィリピンの人は、日本人のお母さんたちとの繋がりを大事にして、とアドバイスしてくれました。入れたい幼稚園が決まったら、積極的に体験入園をした方がいいとも教えてくれました。もう一人のフィリピンのママは来日した子供をすぐ保育所に入れたかったけれど、予防注射をしたり(日本と母国では違う)書類を準備するのに何ヶ月もかかったとか。保育所に入っても毎日大泣きするので、子供もママも辛かったけれど、時間が解決してくれたので、若いママも心配しないで!と励ましてくれました。

中国人ママは保育所では毎日荷物(着替えとか...)が多くて大変だった、まだママの日本語が上手では

ないので、連絡帳も読めなくて忘れ物が多くて子供がかわいそうだったとか。途中から幼稚園に移ったら、今度はお弁当作りが大変。中国ではお弁当を持たせる習慣がなかったので、おかずを一つだけ入れた大きなお弁当を持たせて先生に注意されたとか。日本人の子供の可愛いお弁当を見てびっくり!文化や習慣の違いに初めは戸惑ったそうです。

言葉と文化の壁?がある外国ママたちは幼稚園に入る前よりも入ってからの方が大変なのかなと

体験談を聞いて思いました。でも、日本人ママたちの手助けがとてありがたいという言葉聞き、少し安心しました。

当日は保育ボランティアが7ヶ月から小学生までの子供6人をお預かりしました。初めてママから離れた赤ちゃんをずーっと抱いてくださったボランティアさん、小学生のパワーに圧倒されながらも一緒に遊んでくださったボランティアさん、本当にありがとうございました。そして、中国語、タガログ語、ベトナム語、英語の通訳の皆さん、終始、参加者のために寄り添ってくださりまして、ありがとうございました。

コロナ禍でなかなか対面でのイベントができないでいます。今回は、通訳が必要だろうということで、思い切って対面での勉強会になりました。オンラインのものも工夫してできるようになりたいですが、早く、安心して人と人が触れ合えるようになりますように。



# AGA Calender

2021年9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			○にほんご教室 19:00~20:30 オンライン授業			
5	6	7	8	9	10	11
		○にほんご教室 10:00~11:30 オンライン授業	○にほんご教室 19:00~20:30 オンライン授業	●理事会 18:30~		☆外国人子ども教室 10:00~11:30 上尾市文化センター 302
12	13	14	15	16	17	18
		○にほんご教室 10:00~11:30 オンライン授業	○にほんご教室 19:00~20:30 オンライン授業			☆外国人子ども教室 10:00~11:30 上尾市文化センター 501
19	20	21	22	23	24	25
		○にほんご教室 10:00~11:30 オンライン授業	○にほんご教室 19:00~20:30 オンライン授業			☆外国人子ども教室 10:00~11:30 上尾市文化センター 302
26	27	28	29	30		
		○にほんご教室 10:00~11:30 オンライン授業	○にほんご教室 19:00~20:30 オンライン授業			

## AGA Letter 第137号 2021年9月1日発行

発行責任者：関本 正弘

編集：AGA事務局

発行：上尾市国際交流協会

〒362-8501 上尾市本町 3-1-1 上尾市役所別館 1 F

TEL: 780-2468 (直通) / Fax: 775-0007

E-Mail: office@aga-world.com

じむきょく しやくしよだいい べつかん  
 ※AGA事務局は、市役所第3別館 1  
 かい しやくしよほんちようしゃむ がわ  
 階（市役所本庁舎向かい側のビル）  
 しゅっきん げつ もく きん  
 スタッフの出勤は、月・木・金の10:00  
 ~16:00です。  
 ※AGA事務局が不在のときは、上尾市役所市民  
 協働推進課（Tel.: 048-775-4597）へ。